

2020年度 北海道大学大学院  
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 行動科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	問1 社会現象に対する複数の社会科学的・自然科学的要因による説明原理の理解を評価する。  問2 カテゴリカル・データについて、比率の検定の考え方を理解しているかどうかを評価する。  問3 行動科学に関する基礎知識を評価する。

2020年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）  
（専門試験） 行動科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。

解答用紙は1問につき、1枚を使用すること。

問1 2018年、日本の複数の大学の医学部入試において女性差別が行われていたことが明らかになり、大きな問題となった。この問題を原理的に解決する方法を社会科学及び自然科学の諸分野の理論に基づいて複数提示した上で、それぞれの限界を述べなさい。

問2 以下は仮想のデータである。ある社会問題について、3つの新聞社が取り上げている論調を調べたものである。

表 新聞社別の社会問題についての記事の論調

記事の論調				
	否定的	中立または不明	肯定的	計
A紙	36 (35%)	62 (60%)	6 (6%)	104
B紙	30 (20%)	95 (63%)	25 (17%)	150
C紙	4 (2%)	160 (67%)	76 (32%)	240
計	70 (14%)	317 (64%)	107 (22%)	494

(%は小数第一位を四捨五入しているため合計が100にならない場合がある)

<出典：「太郎丸博 (2005). 人文・社会科学のためのカテゴリカル・データ解析入門. ナカニシヤ出版」より改変>

- (1) この表からどのようなパターンが読み取れるのだろうか。できるだけ詳しく説明しなさい。
- (2) 上の(1)で述べたことすべてについて統計的な検定により確かめたいとする。どのような考え方で、どのような手順で計算を行っていけばよいかを説明しなさい。

問3 次のすべての語句を簡潔に説明しなさい。その際、その語句と関連した著名な実験・調査や研究者などの説明を添えること。

- (1) 社会的促進・社会的抑制
- (2) 自己効力感
- (3) 愛着理論
- (4) 古典的条件づけ
- (5) 社会脳仮説